



植物の高品質化を目指した生産・貯蔵・加工に関する研究

生物資源科学部 准教授 池浦 博美

植物の香りは、自己防衛や繁殖のために重要な役割を担い、栽培条件や環境要因によって大きく変動します。また香りは、我々にとって食べ物の風味を決定づける重要な要素であるとともに、何らかの生理活性を示すものが多く、利用・実用面でも魅力的な分野といえます。私は、園芸植物である野菜、花などの生産、貯蔵、加工において高品質化を目指し、特に香りに着目し、その機能性および利用に関する研究を行っています。主に、島根県の特産物であるエゴマ葉の高品質化生産方法の検討や新たな加工品の作出などの応用についての検討や様々な栽培条件によりエゴマを栽培し、エゴマ葉の香気成分を解析しています。このように、エゴマを含めた園芸植物の香りの研究は、機能性を有する香気成分を含めた二次代謝物質を豊富に有する園芸植物の品種育成等を行うことで栄養価の高い食糧の確保や栄養状態の改善に繋がり、また高付加価値化が可能な栽培技術および加工技術を構築すれば、持続可能な農業を推進でき、さらには島根県の特産物の品質向上や需要拡大に貢献することが期待されます。

